

《出来事はいかに記憶され、 いかに忘却されるか International Workshop —集合的記憶の動態を考える》

総合司会 渡辺直紀（武蔵大学） 岩崎稔（東京外国語大学）

3月1日 (sun.)

震災という出来事と
文学に書き留められた記憶、零れ落ちた記憶

13:00 - 15:00

基調報告 ブレット・ド・バリー（コーネル大学）
クロノトポスとしての不自然災害：
多和田葉子の『献灯使』

司会 渡邊英理（静岡大学）

対話的質問者 岩川ありさ（法政大学）

15:20 - 17:30

震災後文学をめぐる特別セッション

司会 鳥羽耕史（早稲田大学）

報告者 木村朗子（津田塾大学）

坪井秀人（国際日本文化研究センター）

マルゲリータ・ロンダ
（カリフォルニア大学アーバイン校）

18:00 -

懇親会 東京外国語大学特別食堂（予定）

会場 東京外国語大学研究講義棟 4F

海外事情研究所 427会議室

3月2日 (mon.)

被爆の記憶と「平和利用」の詭計、
そして震災の表象

13:00 - 15:00

安藤丈将『脱原発の運動史—チェルノブイリ、福島、
そしてこれから』（2019, 岩波書店）をどう読むか

司会 小田原琳（東京外国語大学）

提題者 日下部尚徳（東京外国語大学）

山本昭宏（神戸市外国語大学）

リプライ 安藤丈将（武蔵大学）

15:30 - 17:30 ラウンド・テーブル

司会 成田龍一（日本女子大学）

討論者 ブレット・ド・バリー（コーネル大学）

島菌進（上智大学）

木村朗子（津田塾大学）

岩川ありさ（法政大学）

三原芳秋（一橋大学）

ペドロ・エルバー（早稲田大学）

酒井直樹（コーネル大学）

会場 早稲田大学早稲田キャンパス7号館

212教室

両日全企画とも参加自由／参加費無料／事前登録の必要もありません。

主催 科学研究費 (A)「記憶論的転回以後の集合的記憶論の学際的再検討」（代表 岩崎稔）

共催 世界展開力事業（北米）「多文化主義的感性とコンフリクト耐性を育てる太平洋を超えたCOIL型日米教育実践」

海外事情研究所／WINC（Workshop in Critical Theories）

📧 ifa@tufs.ac.jp